

立命館大学におけるピア・サポート活動の人間科学的一考察

ピア・サポート活動団体研究会 梅原聡（人間科学研究科）朝倉愛里（文学研究科）松下彩花（人間科学研究科）

目的

- ▶ 日本の大学が持つ学生支援機能にピア・サポートや「学生参画」の考え方が取り入れられるようになって数十年経ち、今日では多くの大学で実に多様な形式や意図でピア・サポート活動が展開されるようになった。
→今後もピア・サポート活動の展開は広がりを見せるものと考えられており、**今一度、ピア・サポートの概念や大学における意義を整理する必要がある。**
- ▶ 大学におけるピア・サポート活動は位置づけや機能の観点からは多く議論されているものの、本来の主体である学生の声をもとに活動意義や効果的な体制の整備についての議論は少ない。
→ピア・サポーターが多く活動する立命館大学の環境を生かし、実際に現場で活躍する**ピア・サポーターが抱える活動への考えや悩みを起点にピア・サポート活動の意義や在り方を模索したい。**

開催内容

- 4月：研究会活動計画作成・論文輪読
- 5月：調査票①作成・調査資料作成・調査説明・論文輪読
- 6月：調査説明・調査票①配布・論文輪読・結果分析
- 7月：結果分析・調査票②作成・調査票②配布
- 8月：調査票②回収・結果分析・要旨作成
- 9月：調査票②回収・結果分析・要旨作成
- 10月：結果分析・要旨作成・ポスター制作
- 11月：学会発表、及び発表に向けた準備
- 12月：学会発表振り返り
- 1月：結果分析・研究計画の見直し
- 2月：振り返り・総括

総括と展望

- ▶ 当初の目的と照らして
 - ・大学におけるピア・サポートの現在の状況を論文や文献から把握することができた。
 - ・ピア・サポートに対する学生の認識を明らかにするために、様々な尺度や調査を検討し調査を構築できた。
- ▶ 良かった点・改善点
 - ・関係各所のご協力を賜り、多くの学生に調査を実施することができた。
 - ・膨大なデータの分析と考察に苦勞した。
- ▶ 展望
 - ・大学におけるピア・サポート活動の体制に関わる理論の構築や、ピア・サポート活動に従事する学生への還元までには、持続的な調査と研究の必要があるだろう。

研究計画

- 1] 大学のピア・サポートに関わる論文、文献の書見
- 2] ピア・サポーターと学生に対する研究調査

研究Ⅰ 学生ピア・サポーターがピア・サポート活動に対して抱く動機の構造を明らかにする

- ▶ 目的：学生ピア・サポーターがピア・サポート活動に対して抱く活動動機の構造を明らかにすることにより、学生ピア・サポーターが活動を始める契機や要因、さらに活動意欲の変容構造についても明らかにする。
- ▶ 背景：ピア・サポート活動について、支援者側学生の参加が一部の学生にとどまる傾向がある。ピア・サポート活動を行う学生の活動に係る意欲の定期的な低下の傾向が見られる。
- ▶ 方法：質問紙調査(インターネット)および、半構造化面接によるインタビュー調査

研究Ⅱ 立命館大学学生がピア・サポート活動に対して抱くイメージを明らかにする

- ▶ 目的：サポートを行う側の学生（ピア・サポーター）とそれを受ける側の学生がピア・サポート活動に対して抱く感覚や考え、イメージを明らかにすることにより、立命館大学における「ピア・サポート」活動の意味や位置づけを再定義する。
- ▶ 背景：自治の要素を多く含み独自の発展をしてきた立命館大学の学生ピア・サポーターは、それぞれ「ピア・サポート」に対し異なる考えを持って活動しているのではないかと。学生支援において「ピア・サポート」という言葉は多用されるものの、学生の「ピア・サポート」に対するイメージを調査した研究はまだない。
- ▶ 方法：質問紙調査(インターネット)および、半構造化面接によるインタビュー調査

成果

- ▶ 大学におけるピア・サポートの目的や効果は、学生に対しては、学生同士が支え合うことによる成長と大学での支え合いに参画することによるモチベーションの向上が期待され、大学としてはその中で学生の抱える問題が軽減されることが目指されている。**大学におけるピア・サポートは、従来のピア・サポートの教育実践方法としての捉え方を用いて、大学における学生支援の一端を担うものとして位置付けられていることが明らかになった。**
- ▶ 研究Ⅱについて、サポートを行う側の学生（ピア・サポーター）およびそれを受ける側の学生それぞれが、ピア・サポート活動をどのように認識しているかを明らかにした。調査結果の分析から、ピア・サポートに対するイメージの違いとして、**ピア・サポーターは学生にとって近い存在として捉えるのに対し、ピア・サポーターに従事していない学生は一定以上の距離のある存在として捉える傾向にあった。**また、「ピア」という語の意味について、「ピア」だと思える程度はピア・サポーターとそうでない学生に差異が見られず、活動に従事しても「ピア」の概念が狭いままであることが明らかになった。

※大学教育学会2019年度課題研究集会にて発表